

自立の町をめざして

予算特別委員会は、三月八日から十一日まで町中央コミュニティセンターで開かれました。初日には、委員長に佐々木良一郎委員を選出。四日間にわたり一般会計や介護保険特別会計など九会計の平成十七年度当初予算を審議しました。財政問題や産業振興策など、会計ごとに委員から数多くの質問があり、活発な質疑が交わされました。ここではその審議の概要をお伝えします。

総括質疑



4日間に及んだ予算特別委員会
新年度予算について活発な議論
が交わされました

民間企業研修での 職員の意識改革は

問 職員を企業に出向させた効果、意識改革は。電話の応対など向上した点はあるが、声かけ挨拶など不十分な点もある。十人単位で職員と懇談し、厳しい財政状況、職員への風当たりなどを話し、職員一人一人の感想意見を聞いている。

機構改革による 総括・評価作業は

問 機構改革の総括が遅れている理由は。遅れている訳ではない。機構改革を行ってから一年経過したばかり。

課のフラット化による 職員の協力体制は

問 課のフラット化によりチーム内の協力体制が確立されているか。新しいことを始めたばかり。走りながら直すところは直していく。

緊急物資と飲料水は 一応は確保されている。

問 緊急物資と飲料水は一応は確保されている。防災資機材などは各防災センターに配備。自治防災組織の整備は力を入れて取り組む。

問 緊急物資と飲料水は一応は確保されている。防災資機材などは各防災センターに配備。自治防災組織の整備は力を入れて取り組む。

コミュニティ補助 の交付要件は

問 コミュニティ補助金の交付要件は。事務局長の報酬、管理人賃金を、三地区(大沢・織笠・田の浜)に対して百三十万円を補助している。

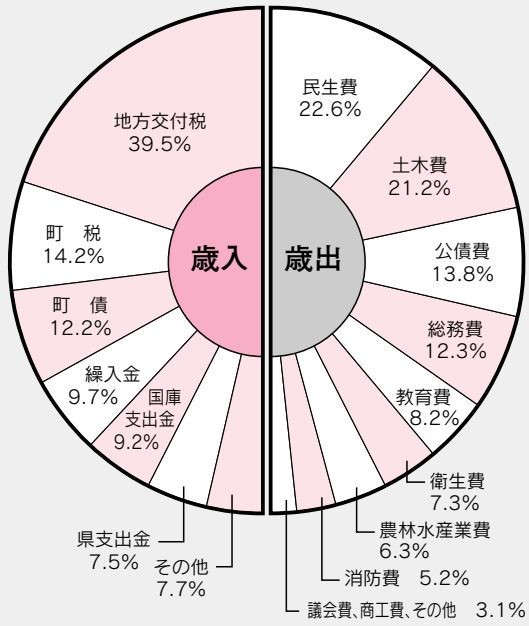
コミュニティは地域 との協働のために必要

問 コミュニティは地域との協働のために必要である。第八次総合発展計画策定の際の、検討事項であると考えている。「まちづくり委員会」のなかで考

問 コミュニティは地域との協働のために必要である。第八次総合発展計画策定の際の、検討事項であると考えている。「まちづくり委員会」のなかで考

平成17年度予算額

◆一般会計 71億6,645万円



◆特別会計など

国民健康保険	23億4,304万円
老人保健	16億9,264万円
介護保険	11億9,222万円
簡易水道事業	7,380万円
漁業集落排水処理事業	1億6,960万円
公共下水道事業	3億4,090万円
土地取得事業	6万円
水道事業	収入 2億8,643万円 支出 2億6,922万円

問 鯨館は十年で一億円の赤字である。今後の

「鯨と海の科学館」に 善幸先生の記念館を

問 地震、津波対策の取り組みは。自主防災組織の立ち上げが緊急の課題ではないか。

地震・津波対策の 取り組みを急げ

問 ゴミ収集業者の募集期間に問題がなかったか

問 ゴミ収集業者の募集期間に時間的余裕がなかったのではないかと。町調査と広域行政組合との折衝に時間がかかった。車の手配や人員の確保など厳しい面もあるが、可能な期間であったと考える。



織笠婦人会による炊き出し訓練の様子 (昨年の総合防災訓練)

第八次総合発展計画 の原案はいつ完成か

問 総合発展計画審議会、町づくり委員会のスケジュールは。委員会の開催回数と、原案の完成はいつか。

答 発展計画審議会は三回、町づくり委員会は四回開催する予定。原案は十月から十一月にまとめる。

えていきたい。

問 運営をどのように考えるか。

答 善幸先生の資料展示は鯨館がふさわしいと考えるが。運営方法の合理化について、現在、検討している。

問 善幸先生の資料展示について、即答することはできない。